

自動認識の世界をより身近に **Flags**

vol.137 2016
10月号

『自認展&物流展開催レポート』

先月、東京ビックサイトで開催された「第 17 回 自動認識総合展」は、例年を上回る沢山のお客様のご来場を頂き、盛況のうちに終了いたしました。

今年は 2 年毎に開催されるアジア最大規模の「第 12 回 国際物流総合展」の開催と同時開催となり、東京ビックサイトの東ホール全館を埋め尽くした盛大な展示会となりました。

今月号は、自動認識の視点から両展示会の出展レポートをお届けします。



高性能データコレクター

- ハンディターミナルでは高価過ぎる。
- データコレクタでは機能が足りない。

…そんなニーズに応える新カテゴリーのデータコレクター。スマホやタブレットと連携し一人一台を可能にする IoT のキープロダクトして自動認識総合展&国際物流総合展で発表いたしました。

CPU:1GHz、メモリ:4GB

他の追随を許さないハイスペック。
業務に合わせてユーザアプリケーションの開発も可能!



↑パターンマッチングのデモ

付加情報として“消費日付”、“ロット番号”、“製造記号”、“証券番号”などの文字情報を収集する OCR(文字認識)の需要が一番多いのですが、今年の当社のブースでは、基板のパターンマッチングで異品種混入防止や基板上の実装 IC の未実装などを自動で検出する画像検査などもバーコードを同時に読み取る固定式 2 次元コードスキャナを参考出展したところ、多くの来場者にご好評を頂くことが出来ました。

今年のトレンド

9 月 13 日(火) から始まった国際物流総合展は、開催コンセプトとして「物流展で見つけよう～課題解決のネクストステップ～」を掲げ開催されました。

アジア最大の物流・ロジスティクスの総合展であるだけに、最新の自動倉庫、仕分けソーター、フォークリフト、パレタイズロボットなどの実物が展示されており、性能紹介や導入効果の実演デモは各社圧巻のインパクトでした。

自動認識総合展では「IoT 時代の Key テクノロジー」をコンセプトに掲げ、1 日遅れた翌日の 14 日から開幕され、東京ビックサイトの展示ホールは一気に盛況さを増しました。

自動認識の視点から全体の展示会を見回すと、両展示会とも共通して匂真っ只中の「UHF 帯 RFID」、「画像認識処理」に加え、ハンズフリーで業務を効率化する「ウェアラブル」が再び注目されていました。関連機器やソリューションが各社ブースで熱心に実演され、新技術の特長をアピールしており、来場者の高い関心を集めておりました。



ウェアラブル機器

ウェアラブル機器とは、ヘッドレストや手首、指などにバーコードスキャナや RFID リーダを装着して、両手を自由に使いながら読み取り操作が可能な機器のことを言います。

スパイ映画の M:I シリーズに登場する主人公のトム・クルーズが装着しているスパイメガネなどは、まさしく近未来のウェアラブル機器の一つですね。

近年では少しづつウェアラブルの注目度が下がって来たかのような印象がありましたが、ピッキングや検品、仕分け作業に於いても、音声認識活用の広がりを受けて、ウェアラブル端末としてバーコードスキャナや RFID リーダを組み合わせ活用することにより、完全なハンズフリーを目指すソリューションが、ふたたび注目されてきたようです。

画像認識処理

2 次元コードスキャナはカメラを搭載してコードを読み取っているの、通常のデジタルカメラと同様に画像も撮影することが可能です。近年の 2 次元コードスキャナは、カメラの高解像度化はもちろん、処理スピードの向上やメモリ容量の増加により、2 次元コードを読み取る以外にも、様々な画像認識処理ができる様になってきています。

画像認識と言えばバーコード情報の

UHF帯RFID

UHF 帯 RFID 関連技術の注目度は、依然として全く衰えがありませんでした。

当社のブースでは、実際にコンベアを展示して、コンベア上を流れてくるコンテナの中身をすべて読み取らせる「一括検品システム」を実演いたしました。

また、新製品の高出力タイプの UHF ハンディターミナルは、専用の Android 端末だけでなく、オプションユニットで iPhone や iPod を装着可能で、一体型でも分離型でも使用できるので多彩なシーンで利用できると好評でした。

その他にも、株式会社日進様のご協力を頂き、世界 8 カ国の陸・海・空の輸送事業で使用されている輸送コンテナを UHF 帯 RFID で管理する仕組みを導入事例として紹介させて頂きました。国際物流の全拠点で統一した UHF の活用ソリューションを成功させた数少ない事例として注目を頂きました。



↑ 物流展会場では実際のコンベアでデモを実施

NFC ソリューション

お財布携帯や Suica など個人を認証するツールとして日常生活でも浸透してきた NFC ですが、セキュリティやポイントサービスなどで、その用途はまだまだ広がっております。

当社では、活用シーンに合わせて、パソコンに USB で接続するだけで簡単に NFC カードが利用できる端末から、NFC リーダ・ライタ自身にあらかじめ動作設定をしておき、自律して動作が可能な端末など、当社ならではの様々な、製品ラインナップを展示いたしました。

IC 社員証を活用した「勤怠管理システム」や、物流倉庫や製造現場で人の管理を見える化する「作業実績収集システム WMステーション for NFC」などの導入事例をメインに据え、NFC リーダ・ライタの製品展示のみに留まらず、実際の現場ですぐに活用いただける体感コーナーとしてご案内させて頂きました。

手のひらサイズモバイルハンディター

↓ UHF の活用ソリューション



新製品発表! インテリジェント・データコレクタ

「ハンディターミナルでは高価すぎる。」
「データコレクタでは機能が足りない。」
…そんなニーズに応える新世代データコレクタ (MID-100) を両展示会で初めて製品発表をしました。

2 次元コードスキャナを搭載した「手のひらサイズモバイルハンディ」で、全く新しいカテゴリのスキャナです。

今、トレンドのタブレットや Android 端末へ簡単に接続でき、発注端末や検針業務、配送ドライバー端末としても最適なスキャナとなります。

最後に

展示会開催期間中に、当社ブースにご来場頂きました読者の皆様には、本紙面を借りて、厚く御礼申し上げます。

残念ながら展示会にご来場頂けなかった皆様には、新製品、参考出展、ソリューションの資料だけでなく、各社のご事情に合わせたデモの個別開催や、貸出機材などもご用意しておりますので、お気軽に当社営業担当までお声掛けください。

また、当社は、お客様のお役に立つ新製品、サービスを作り続ける事を企業理念としております。

お客様が抱える自動認識技術に関するご要望、ご相談、お悩みなど、いつでもお気軽にお問い合わせください。

めざせ、自動認識基本技術者! Lesson 6

◎二次元シンボルの基礎

二次元シンボル(=2次元コード)と言うと、真っ先に思い浮かべるのが「QRコード」かと思えます。国内の場合、2次元コードは「QRコード」だけしか存在しないと認識されている方が大勢います。

実際に世界標準とされている2次元コードは大きく6種類存在しており、世界中で一番多く利用されている2次元コードは「DataMatrix」なのです。

2次元コードに関しては、数回に渡って基礎情報を掲載したいと思います。



<QRコード>



<DataMatrix>

2次元コードの種類

1	DataMatrix
2	PDF417
3	QRコード
4	Maxi code
5	GS1 composit
6	Aztech code

第8回総合検査機器展(JIMA2016)ご来場御礼

9月28日(水)~30日(金)の3日間東京ビッグサイトにて開催されたJIMA展で、当社ブースへお越しいただき、誠にありがとうございました。
当社が誇るナノテクノロジーのX線検査事業での、詳しい機器のご説明・実機によるデモ、サンプル検査等は、担当営業部門へ、いつでもお気軽にお問合せください。
<http://xi.mars-tohken.co.jp/>
TEL:042-484-6155 X線営業部

次号予告

2016年 11月号は・・・

『モバイルスキャナの新カテゴリ
インテリジェントデータコレクタ』
についてです。

Flags 10月号は 10月 7日発行です。

都合により内容が変更になる場合がありますので、予めご了承下さい。
バックナンバーは弊社ホームページに掲載しております。

Flags / フラッグス

2016年10月号 Vol.137 2016年10月7日発行

編集・発行 株式会社マーストーンソリューション

編集事務局:03(3352)8545

本誌に掲載の記事・写真・図版などは著作権法によって保護されており、無断で転用・転載・複製することはできません。

本 社	東京都新宿区新宿1-8-5	新宿御苑室町ビル
	Tel:03(3352)8522	Fax:03(3352)8579
日立営業所	Tel:029(276)9555	Fax:029(276)9556
名古屋営業所	Tel:052(218)7661	Fax:052(218)2607
大阪営業所	Tel:06(6353)5476	Fax:06(6353)6125
福岡営業所	Tel:092(441)3638	Fax:092(441)3639
X線営業部	Tel:042(484)6155	Fax:042(489)9241